

11 JR 土気地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	115ha	
旅客施設（3000 人/日 以上）乗降客数	JR 土気駅	26, 670 人（平成 30 年度）
バス便数	土気駅南口	157（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
	土気駅北口	42（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
生活関連施設数	13 施設	
生活関連経路延長	約 3, 200m	
500m 圏人口	4, 244 人	※JR 土気駅を中心に 500m 圏の範囲で算出 （2015 年国勢調査 4 次(500m)メッシュ）
500m 圏高齢者数	1, 043 人	
500m 圏高齢化率	25%	
従前の基本構想から の主な変更点	桜ホットステーション親子を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

JR土気地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも少なく、高齢化率は平均的な地区です。駅から500m程度の範囲内に公共施設、集会施設、福祉施設が集積し、1km程度離れたあすみが丘に病院、複合施設、大規模店舗が立地しています。

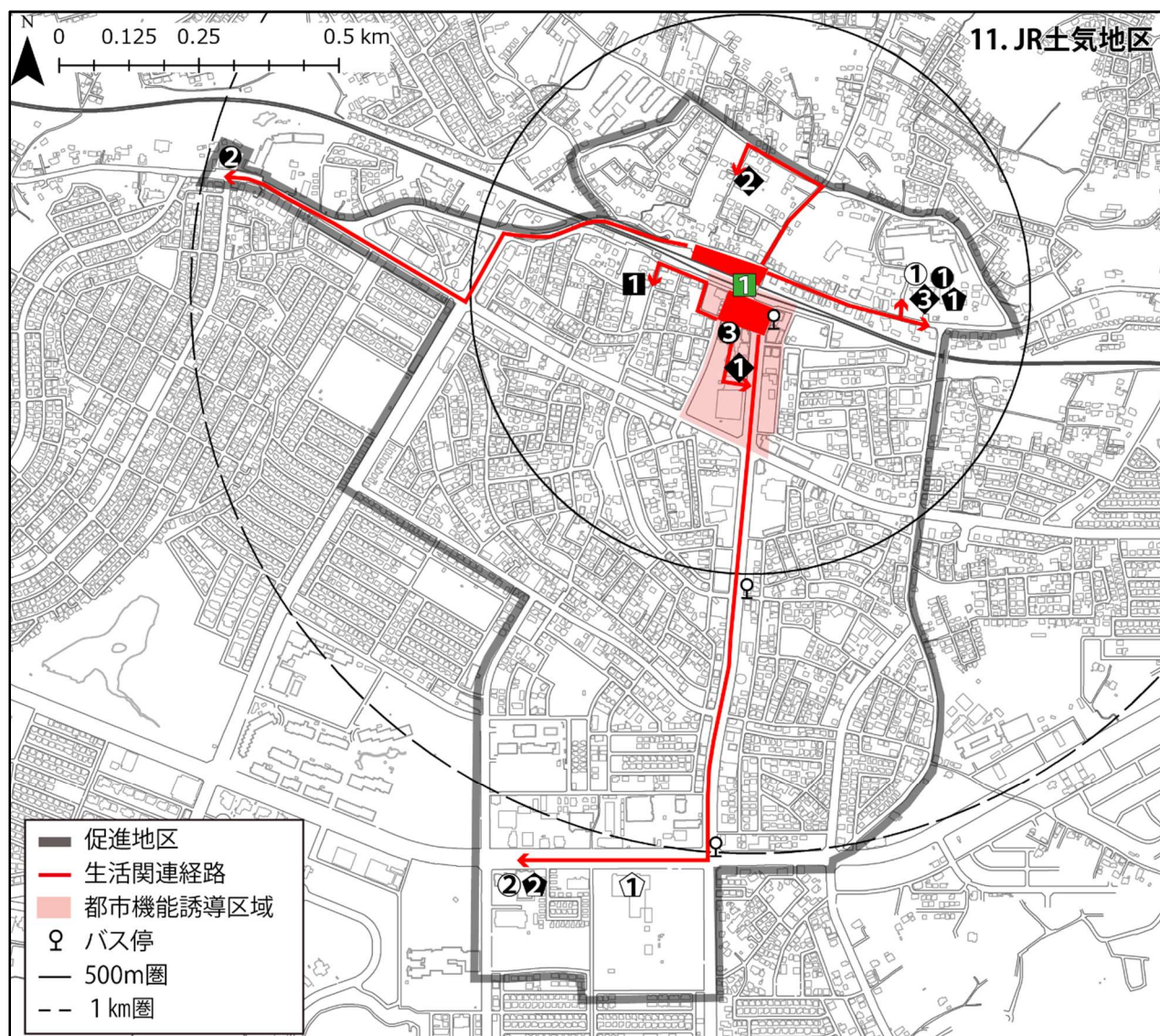
駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅南側に設定された都市機能誘導区域の一部はあすみが丘バースモールとして歩行者専用空間となっています。

JR土気駅の乗降客数及びバス便数は平均的で、南口からあすみが丘方面、北口から大椎台団地・誉田駅方面へアクセスしています。

駅及び駅前広場、南口側の道路、施設は基本的にバリアフリー化されていますが、あすみが丘ブランニューモール付近は長い坂道であり、車椅子による移動では負担が大きい経路です。駅北口側は大網街道で狭い歩道が断続的に続き、段差や勾配がありバリアフリー化が困難な状況です。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 土気駅
公共施設	1	土気市民センター ※1
	2	土気郵便局
	3	土気駅前郵便局
集会施設	1	土気公民館
	2	土気あすみが丘プラザ ※2
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター土気
	2	桜ほっとステーション親子
	3	土気いきいきセンター ※1
保健施設・病院	1	鏡戸病院
文化・教養 ・教育施設	1	緑図書館土気図書室 ※1
	2	緑図書館あすみが丘分館 ※2
大規模店舗	1	あすみが丘プランニューモール

※は同一建物内



JR 土気駅南口駅前広場



大網街道 (JR 土気駅北口)